

四 半 期 報 告 書

(第150期第1四半期)

自 2020年4月1日

至 2020年6月30日

東 邦 瓦 斯 株 式 會 社

(E04517)

第150期第1四半期（自2020年4月1日 至2020年6月30日）

四 半 期 報 告 書

- 1 本書は金融商品取引法第24条の4の7第1項に基づく四半期報告書及び金融商品取引法第24条の4の8第1項に基づく確認書を、同法第27条の30の2に規定する開示用電子情報処理組織(EDINET)を使用し提出したデータに目次及び頁を付して出力・印刷したものであります。
- 2 本書には、上記の方法により提出した四半期報告書に添付された四半期レビュー報告書を末尾に綴じ込んでおります。

目 次

頁

【表紙】	1
第一部 【企業情報】	2
第1 【企業の概況】	2
1 【主要な経営指標等の推移】	2
2 【事業の内容】	2
第2 【事業の状況】	3
1 【事業等のリスク】	3
2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】	3
3 【経営上の重要な契約等】	4
第3 【提出会社の状況】	5
1 【株式等の状況】	5
2 【役員の状況】	6
第4 【経理の状況】	7
1 【四半期連結財務諸表】	8
2 【その他】	15
第二部 【提出会社の保証会社等の情報】	16

四半期レビュー報告書

確認書

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年8月11日

【四半期会計期間】 第150期第1四半期
(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

【会社名】 東邦瓦斯株式会社

【英訳名】 TOHO GAS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 富成義郎

【本店の所在の場所】 愛知県名古屋市中区熱田区桜田町19番18号

【電話番号】 052(872)9342

【事務連絡者氏名】 財務部決算グループマネージャー 兼 氏太郎

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区京橋2丁目4番12号 京橋第一生命ビル
東邦瓦斯株式会社東京支社

【電話番号】 03(3271)5444

【事務連絡者氏名】 東京支社長 森井定正

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)
株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄3丁目8番20号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第149期 第1四半期 連結累計期間	第150期 第1四半期 連結累計期間	第149期
会計期間	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日	自 2019年4月1日 至 2020年3月31日
売上高 (百万円)	120,297	101,640	485,623
経常利益 (百万円)	16,094	9,737	24,763
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	12,565	6,736	16,266
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	10,521	10,283	4,271
純資産額 (百万円)	334,933	330,143	322,768
総資産額 (百万円)	552,449	555,351	564,756
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	118.17	63.79	153.62
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)	—	—	—
自己資本比率 (%)	60.6	59.4	57.2

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれていない。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載していない。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容について、重要な変更はない。

また、主要な関係会社についても異動はない。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業等のリスクについて、重要な変更はない。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 財政状態及び経営成績の状況

当第1四半期連結会計期間末のガスのお客さま数は、前年同四半期末と比べ2万4千件増加し251万5千件となった。当第1四半期連結累計期間のガス販売量は、前年同四半期と比べ11.7%減少し8億6百万m³となった。用途別では、家庭用は前年同四半期並みとなった。業務用等は主に新型コロナウイルスの感染拡大に伴う影響により、前年同四半期比14.4%減少した。LPGのお客さま数は、昨年度末のヤマサグループの連結子会社化により、前年同四半期末と比べ17.4%増加し59万1千件、販売量は前年同四半期と比べ3.3%減少した。電気のお客さま数は、前年同四半期末と比べ13万6千件増加し36万6千件、販売量は2億7千7百万kWhとなった。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同四半期比15.5%減少し1,016億4千万円となった。売上原価は、同16.6%減少し621億1千6百万円となった。供給販売費及び一般管理費は、前年同四半期並みの307億6千3百万円となった。これらの結果、経常利益は同39.5%減少し97億3千7百万円となった。親会社株主に帰属する四半期純利益は、同46.4%減少し67億3千6百万円となった。

当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う業務用等のガス販売量の減少に加え、原料費調整制度による前年同四半期における差益の反動減により、大幅な減益となった。

セグメントの業績を示すと、次のとおりである。

①ガス

お客さま数は、前年同四半期末と比べ2万4千件増加し251万5千件となった。販売量は、前年同四半期比11.7%減の8億6百万m³となった。売上高は、前年同四半期比130億1千3百万円減の658億3千8百万円となった。セグメント利益は、同61億4千1百万円減の65億2千8百万円となった。

②LPG・電気・その他エネルギー

LPGのお客さま数は、前年同四半期末と比べ17.4%増加し59万1千件、販売量は前年同四半期比3.3%減の10万5千トンとなった。電気のお客さま数は、前年同四半期末と比べ13万6千件増加し36万6千件、販売量は2億7千7百万kWhとなった。売上高は、前年同四半期比12億4千7百万円増の240億8千9百万円となった。セグメント利益は、同1億2千3百万円増の12億6千5百万円となった。

③工事及び器具

売上高は、前年同四半期比23億1千9百万円減の75億4千2百万円となった。セグメント利益は、同1億5千6百万円減の1億5千5百万円となった。

④その他

売上高は、前年同四半期比41億1千8百万円減の85億5千6百万円となった。セグメント利益は、同7千1百万円減の5億9千7百万円となった。

総資産は、前期末比94億5百万円の減少となった。これは、受取手形及び売掛金が減少したことなどによる。

負債は、前期末比167億8千万円の減少となった。これは、支払手形及び買掛金が減少したことなどによる。

純資産は、前期末比73億7千5百万円の増加となった。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益を67億3千6百万円計上したことなどによる。

これらの結果、自己資本比率は前期末の57.2%から59.4%となった。

(2) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における当社グループの研究開発費は、3億2百万円である。

(注) 本書面に記載の売上高、仕入高等の金額には、消費税等は含まれていない。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	160,000,000
計	160,000,000

② 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年8月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	105,606,285	105,606,285	東京証券取引所 (市場第一部) 名古屋証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株である。
計	105,606,285	105,606,285	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

① 【ストックオプション制度の内容】

該当事項なし。

② 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項なし。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項なし。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日	—	105,606,285	—	33,072	—	8,027

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はない。

(6) 【議決権の状況】

① 【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式(自己株式等)	—	—	—
議決権制限株式(その他)	—	—	—
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,600	—	—
完全議決権株式(その他)	普通株式 105,227,800	1,052,278	—
単元未満株式	普通株式 374,885	—	—
発行済株式総数	105,606,285	—	—
総株主の議決権	—	1,052,278	—

② 【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 東邦瓦斯株式会社	名古屋市熱田区 桜田町19番18号	3,600	—	3,600	0.00
計	—	3,600	—	3,600	0.00

2 【役員の状況】

該当事項なし。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）及び「ガス事業会計規則」（1954年通商産業省令第15号）に準拠して作成している。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けている。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
固定資産		
有形固定資産		
製造設備	72,421	71,288
供給設備	154,175	150,908
業務設備	26,476	25,945
その他の設備	47,372	46,735
建設仮勘定	10,622	12,750
有形固定資産合計	311,068	307,627
無形固定資産		
その他	10,829	10,800
無形固定資産合計	10,829	10,800
投資その他の資産		
投資有価証券	76,879	83,612
退職給付に係る資産	323	273
その他	33,269	32,319
貸倒引当金	△96	△96
投資その他の資産合計	110,376	116,107
固定資産合計	432,275	434,536
流動資産		
現金及び預金	34,702	37,566
受取手形及び売掛金	58,111	41,967
たな卸資産	23,912	25,166
その他	15,927	16,264
貸倒引当金	△171	△150
流動資産合計	132,481	120,814
資産合計	564,756	555,351

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
固定負債		
社債	70,000	70,000
長期借入金	36,541	35,879
ガスホルダー修繕引当金	1,690	1,716
保安対策引当金	15,173	14,655
器具保証引当金	2,808	2,741
退職給付に係る負債	7,959	7,331
その他	10,092	10,089
固定負債合計	144,265	142,414
流動負債		
1年以内に期限到来の固定負債	13,833	13,755
支払手形及び買掛金	23,432	16,720
短期借入金	6,862	5,858
未払法人税等	6,480	3,353
その他	47,113	43,104
流動負債合計	97,721	82,793
負債合計	241,987	225,207
純資産の部		
株主資本		
資本金	33,072	33,072
資本剰余金	8,387	8,387
利益剰余金	256,066	259,898
自己株式	△11	△16
株主資本合計	297,514	301,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	29,790	32,989
繰延ヘッジ損益	△3,422	△3,235
為替換算調整勘定	1,852	1,838
退職給付に係る調整累計額	△2,967	△2,791
その他の包括利益累計額合計	25,253	28,800
純資産合計	322,768	330,143
負債純資産合計	564,756	555,351

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	120,297	101,640
売上原価	74,475	62,116
売上総利益	45,821	39,524
供給販売費及び一般管理費	30,677	30,763
営業利益	15,144	8,760
営業外収益		
受取利息	69	103
受取配当金	925	912
受取賃貸料	102	106
雑収入	212	188
営業外収益合計	1,309	1,311
営業外費用		
支払利息	213	204
雑支出	146	129
営業外費用合計	359	334
経常利益	16,094	9,737
特別利益		
投資有価証券売却益	1,430	—
特別利益合計	1,430	—
税金等調整前四半期純利益	17,525	9,737
法人税等	4,959	3,001
四半期純利益	12,565	6,736
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,565	6,736

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	12,565	6,736
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,793	3,199
繰延ヘッジ損益	△426	187
為替換算調整勘定	241	△77
退職給付に係る調整額	50	176
持分法適用会社に対する持分相当額	△115	61
その他の包括利益合計	△2,044	3,547
四半期包括利益	10,521	10,283
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,521	10,283
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

項目	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
税金費用の計算	税金費用については、税金等調整前四半期純利益に当連結会計年度の見積実効税率を乗じて計算している。

(追加情報)

当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
<p>新型コロナウイルスの感染拡大により、当地域においても業務用需要を中心に大きな影響が及んでいるが、5月下旬に緊急事態宣言が解除されて以降、徐々に経済活動再開の動きが見られることから、今後、景気が緩やかに回復していくことを前提に、当第1四半期連結会計期間末時点において入手可能な情報に基づいて、固定資産の減損等の見積り及び判断を行っている。</p> <p>ただし、今後の状況の変化によっては、翌四半期連結会計期間以降の連結財務諸表において影響を与える可能性がある。</p>

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

(1) 連結会社以外の会社の金融機関からの借入金に対する債務保証額は、次のとおりである。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
Ichthys LNG Pty Ltd	686百万円	680百万円
MEET Europe Natural Gas, Lda.	2,871百万円	2,905百万円
	3,558百万円	3,585百万円

(2) 従業員の金融機関からの住宅融資金に対する債務保証額は、次のとおりである。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
	85百万円	76百万円

(3) 社債の債務履行引受契約に係る偶発債務は、次のとおりである。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
第31回無担保普通社債	10,000百万円	10,000百万円
第36回無担保普通社債	10,000百万円	10,000百万円
計	20,000百万円	20,000百万円

(四半期連結損益計算書関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

都市ガス事業においては、事業の性質上気温等の影響により、業績に季節的変動がある。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していない。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりである。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
減価償却費	8,997百万円	9,300百万円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月25日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	2,924	27.5	2019年3月31日	2019年6月26日

- 2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項なし。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2020年6月24日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	2,904	27.5	2020年3月31日	2020年6月25日

- 2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項なし。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ガス	LPG・ 電気・その他 エネルギー	工事及び 器具	計				
売上高								
外部顧客への売上高	78,828	22,579	9,536	110,944	9,353	120,297	—	120,297
セグメント間の内部売上高 又は振替高	23	262	324	611	3,322	3,933	△3,933	—
計	78,851	22,841	9,861	111,555	12,675	124,230	△3,933	120,297
セグメント利益	12,670	1,142	311	14,123	668	14,792	351	15,144

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LNG受託加工、不動産の管理・賃貸、プラント・設備の設計施工、総合ユーティリティサービス事業、住宅設備機器の販売、情報処理、リース、天然ガス等に関する開発・投資等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額351百万円は、セグメント間取引消去額である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ガス	LPG・ 電気・その他 エネルギー	工事及び 器具	計				
売上高								
外部顧客への売上高	65,819	23,823	7,124	96,766	4,873	101,640	—	101,640
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	265	418	702	3,683	4,385	△4,385	—
計	65,838	24,089	7,542	97,469	8,556	106,026	△4,385	101,640
セグメント利益	6,528	1,265	155	7,949	597	8,546	214	8,760

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、LNG受託加工、不動産の管理・賃貸、プラント・設備の設計施工、総合ユーティリティサービス事業、住宅設備機器の販売、情報処理、リース、天然ガス等に関する開発・投資等を含んでいる。

2 セグメント利益の調整額214百万円は、セグメント間取引消去額である。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
1 株当たり四半期純利益	118円17銭	63円79銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (百万円)	12,565	6,736
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(百万円)	12,565	6,736
普通株式の期中平均株式数(株)	106,334,787	105,602,877

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していない。

(重要な後発事象)

該当事項なし。

2 【その他】

該当事項なし。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月11日

東邦瓦斯株式会社
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人
名古屋事務所

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 新家徳子 ㊞

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 膳亀 聡 ㊞

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 中野孝哉 ㊞

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている東邦瓦斯株式会社の2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、東邦瓦斯株式会社及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管している。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていない。

確 認 書

【表紙】

【提出書類】 確認書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の8第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年8月11日

【会社名】 東邦瓦斯株式会社

【英訳名】 TOHO GAS CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 富 成 義 郎

【最高財務責任者の役職氏名】 —

【本店の所在の場所】 愛知県名古屋市熱田区桜田町19番18号

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

株式会社名古屋証券取引所
(名古屋市中区栄3丁目8番20号)

1 【四半期報告書の記載内容の適正性に関する事項】

当社代表取締役社長 富成義郎は、当社の第150期第1四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)の四半期報告書の記載内容が金融商品取引法令に基づき適正に記載されていることを確認した。

2 【特記事項】

特記すべき事項はない。